

愛知県環境局の令和2年度主要事業等について

令和2年2月
あいち環境づくり推進協議会

あいち地球温暖化防止戦略2030を推進します

予算額 192,192千円

環境局地球温暖化対策課
調整・企画グループ、温暖化対策グループ
内線 3032・3055
(ダイヤル)052-954-6213

「愛知県地球温暖化対策推進条例」の下で、「あいち地球温暖化防止戦略2030」の目標である2030年度における温室効果ガス排出量の26%削減(2013年度比)の実現に向け、一層の地球温暖化対策を推進します。

1 あいち地球温暖化防止戦略推進費 33,130千円

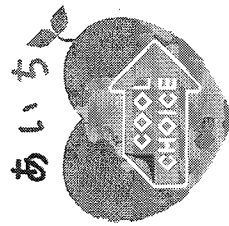
温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」及び気候変動による影響に対処する「適応策」の取組を支援します。

- ・地球温暖化対策計画書制度に基づく、事業者の対策に対する現地調査・助言
- ・中小事業者等に対する省エネ相談などの総合的支援
- ・市町村の地球温暖化対策に係る実行計画の策定支援
- ・再生可能エネルギーの地産地消に向けた課題や対応策等の整理・情報発信(新規)
- ・気候変動の影響や適応に関する情報の収集・発信、先進技術等の紹介

2 温暖化防止県民運動推進事業費 12,953千円

低炭素型の生活様式への転換を促す「あいちクールチョイス」県民運動を市町村等と一体となって拡大します。

- ・小学生が家族とともにエコライフの実践に取り組み「我が家の夏休み！エコアップ大作戦」の実施(新規)
- ・あいちクール&ウォームシェアの実施
- ・省エネ家電への買換促進



あいちこく選んで、地球よるこよ

3 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金 140,000千円

環境に配慮した住宅(スマートハウス、ZEH[※])の普及を図るため、太陽光発電、HEMS(家庭用エネルギー管理システム)などの一体的導入等に対して、市町村との協調により補助を行います。

※ZEH:外皮(外壁、窓等)の断熱性能等向上と高効率設備システムの導入により年間の消費エネルギー量が正味で概ねゼロとなる住宅

4 低炭素素サプライチェーン事業化推進費 6,109千円

再生可能エネルギーを活用した「低炭素素サプライチェーン」の事業化を推進し、一層の広域化を図ります。

- ・「あいち低炭素素サプライチェーン推進会議」による推進策の検討、事業化の支援
- ・「低炭素素認証制度」の運用、認定事業者の取組発信
- ・低炭素素の意義や重要性を発信するシンポジウムや視察会の開催(新規)

次世代自動車の普及に向けて あいち自動車環境戦略2020を推進します

環境局地球温暖化対策課
自動車環境グループ
内線 3037・3091
(ダイヤル)052-954-6217

予算額 322,098千円

電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）及び燃料電池自動車（FCV）を始めとする次世代自動車の普及を促進するため、「あいち自動車環境戦略2020」に基づく取組を推進します。

1 戦略推進費 688千円

「あいち自動車環境戦略2020」に基づき、大気環境基準を確保するため、EV、PHV及びFCVを始めとする次世代自動車の普及促進に向けた啓発事業等を進めます。

2 次世代自動車普及促進事業費 14,200千円

「あいちEV・PHV普及ネットワーク」（設立：2009年4月 構成員：自動車メーカー等92団体）の参加者と協働して、EV・PHVの普及に取り組みとともに、「愛知県次世代自動車充電インフラ整備・配置計画」に基づく整備を促進します。

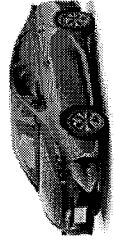
また、EV、PHV及びFCVの一層の普及に向けた目標や取組等を明らかにするプランの策定や、フォーラムの開催により、運輸部門における低炭素化の気運醸成を図ります。

3 先進環境対応公用車導入費 63,496千円

最新型のFCVを始め、環境性能に優れた自動車を公用車に導入します。



電気自動車（EV）



プラグインハイブリッド自動車（PHV）

4 先進環境対応自動車導入促進費補助金 243,714千円

旅客・貨物運送事業者や中小企業等の事業者に対し、EV、PHV、FCV、ハイブリッド自動車（HV）のユニバーサルデザインタクシー等の次世代自動車を導入する経費の一部を補助します。



燃料電池自動車（FCV）

生物多様性保全に関する取組を一層推進します

予算額 112,423千円

環境局 環境政策課
自然環境グループ
調整・施設・自然公園グループ
内線 3060・3061
(ダイヤル)052-954-6227

「愛知目標」の目標年2020年を迎え、COP10開催地として取り組んできた本県の先進的な取組の成果を国内外へ発信するとともに、これまでの成果と課題を踏まえて2021年以降の新戦略を策定し、生物多様性保全の取組を一層活性化します。また、個体数の増加が著しく、生態系に影響を及ぼしているニホンジカについて、鳥獣管理対策を強化します。

1 あいち生物多様性戦略の推進

- 2020年の1年を通じて「つながる ひろがる 生物多様性の輪」をキャッチフレーズに、生物多様性バーストプラクティス(先進事例)の選定・発信や連携イベントを展開し、地域全体の気運の盛り上げを図ります。
- 「愛知県SDGs 未来都市計画」(2019年8月策定)に基づく先導的取組として、大学生等のユース世代を核に多様な世代の対話・交流を促す多世代フォーラムを開催するなど、生物多様性保全の担い手を育成します。
- 生態系ネットワークの形成など、本県のこれまでの取組成果と課題を検証し、2030年に向けたSDGsの理念を踏まえた生物多様性保全の新たな戦略を策定します。



あいち・なごや生物多様性 2020 ロゴマーク

2 愛知目標の達成に向けた国際連携の推進

- 次期世界目標が採択されるCOP15(2020年10月、中国・昆明)及びその準備会等に参加し、次期世界目標において自治体結果たすべき役割の重要性を発信します。
- 本県と環境分野に係る協定等を結んでいる中国・江蘇省、韓国・江原道、ブラジル・サンパウロ州との連携により、生物多様性保全の取組を学び合う学生交流プログラムを実施し、次代の担い手を育成します。

3 鳥獣管理対策の強化

- 生息域が拡大しているニホンジカについて、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画に基づき、集中的かつ広域的な捕獲を行います。

あいち・なごや生物多様性 ベストプラクティス 大募集!

募集の締切

2020年
3月16日月

愛知目標達成に向けた生物多様性の保全や持続可能な利用に関する取組を総括し、さらなる取組の促進につなげるため、COP10以降に愛知県内で行われた取組事例を募集し、優れたものについて顕彰・奨励します。

対象となる取組

次のいずれかに該当する取組事例のうち、愛知県内において2011年以降に行われたもの(2011年以前から継続して行われているものを含む。)を対象とします。

① 生物多様性の保全

森林、水辺等の生態系保全、野生生物の保護、外来種対策など、生物多様性の保全に関する取組。

② 生物多様性の持続可能な利用

食料・資材、サービス、景観等の生物多様性の恵みについて、その持続可能な利用に貢献する取組。

③ その他の取組

普及啓発、学習、教育等、その他の生物多様性に関する取組。

応募資格

日本国内に拠点がある組織、団体であること。複数の団体等による共同の応募や、1団体から複数の取組事例の応募も可能です。

賞の種類

👑 ベストプラクティス (グッドプラクティスの中から10件程度)

👑 グッドプラクティス (100件程度)

※受賞事例を愛知県・名古屋市の広報媒体に掲載します。

実施スケジュール

2020年3月16日(月) : 募集締め切り

2020年4月~5月 : 選定委員会による審査、受賞事例の公表

